

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成19年度第3回）の開催結果について
記者発表資料

関東地方整備局では、平成19年12月21日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

- ・河川事業 再評価----- 4件の継続を承認

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) 情報公開 事業評価よりお入り下さい

直接お入りの方は <http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/office2/jigyohyoka/index.htm>

平成19年12月25日

国土交通省関東地方整備局

企 画 部

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、
神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、
刀水クラブ、千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL.048-601-3151（代表）
048-600-1329（夜間直通）

地方事業評価管理官 吉田 高樹（内線2118）
企画部 事業調整官 田村 俊彦（内線3116）

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成19年度第3回）
議事概要

1. 日 時 平成19年12月21日（金）14:00～16:00

2. 場 所 虎ノ門パストラルホテル 本館1階 「葵」

3. 出席者

[委員長]

森地 茂（政策研究大学院大学教授）

[委員]

磯部 雅彦（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

一色 誠一（日本経済団体連合会都市・地域政策委員会企画部会長）

岩崎 美紀子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）

進士 五十八（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

中条 潮（慶應義塾大学商学部教授）

西谷 隆亘（法政大学工学部都市環境デザイン工学科教授）

笠 京子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 北橋、副局長 伊藤、総務部長 小林、企画部長 横山、
建政部長 上田、河川部長 柏木、道路部長 上野、
用地部長 油谷 他

[独立行政法人水資源機構]

理事 大藪、経営企画部長 川崎、ダム事業部長 山口 他

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の河川事業3件、(独)水資源機構の事業1件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針(原案)は、承認する。

再評価対象事業

ハツ場ダム建設事業	-----	継続
湯西川ダム建設事業	-----	継続
霞ヶ浦導水事業	-----	継続
思川開発事業	-----	継続

(委員からの主な意見等)

- ・ ダム事業のような複数目的の事業の費用・効果については、今後、複合事業としての費用・効果と単独事業及び追加事業を分割したときの費用・効果を、それぞれ評価することを検討をしていくべき。
- ・ 景観の費用対効果の評価については、現状との比較、入込客の考え方、現地での調査など、今後さらに工夫を要する。
- ・ 霞ヶ浦導水の浄化用水の効果に対する質問については、流域対策と相まっつての効果を評価していることを説明した。